

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-08-01
事務事業名	老人保健制度維持事業		
		根拠法令・要綱等	老人保健法
事業開始年度	平成17年度から		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先	保健課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	保険医療係長 河井 健治
小項目 施策	老人保健(医療費給付)	電話	64-1819

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	老人医療対象者
目的(何のために)	老人保健制度を維持し、適切な給付事業の実施に努める。
行政活動(どのような方法で)	老人医療受給者の資格管理等を適切に行う。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	適正な医療給付が受けられることで制度に対する信頼を向上させる。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	対象者	人	6,565	6,250	5,953
	第三者納付金	円	8,332,624	6,390,846	7,898,361
事業費	直接事業費	千円	40,186	51,570	26,118
	人件費		2,790	3,090	4,416
	事業費計		42,976	54,660	30,534
	国県支出金	千円	8,719	6,777	8,284
受益者負担					
財源	一般財源		34,257	47,883	22,250
	必要人員	人	0.35	0.35	0.63
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	対象者数	説明			
	結果指標量	人	6,565	6,250	5,953
	対前年比	%	-	95.2%	95.2%
	活動コスト	円	42,976,000	54,660,000	30,534,000
結果指標	単位当たりコスト	円	6,546	8,746	5,129

事業の成果			
成果指標名	被保険者一人当たり費用	式又は説明	年間事業費 / 対象者数
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	6,546		8,746 5,129
対前年比			133.61% 58.64%
到達目標値	5,000円	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価			(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	C	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	行政活動	高齢者が医療給付を適切に受けることについて、法に基づく必要な事業である。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している			
市市民ニース	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	<input type="checkbox"/> 事業の意図する成果		
市の関与	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	効率性評価<A~E>		C
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識		
手	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	制度が廃止されることから事業費は減少しており今後も減少することとなる。事務処理については正確かつ迅速に実施できている。		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある			
職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>		C
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	課題認識		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果指標は向上しており今後も向上の見込みである	成果は向上しており今後も向上の見込みである		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	事業について積極的に情報提供している		高齢者の経済的な負担を軽減している制度であり、日常生活での安心を提供できている。
	<input type="checkbox"/> 事業にNPO、ボランティア団体等が参画している	事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		

平成20年度の状況		説明	医療制度改革により制度が廃止されることから事業費は大幅に減となり、今後は事業の残務整理を行うことから事業費は縮小していく。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 6,000人	結果指標量	5,000円

総合評価		評価区分<A~E>	C
平成20年3月31日で制度は終了したが、残務整理が必要なことから継続して事業は実施する。平成23年度で完全廃止の予定。			

平成21年度以降の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果